

平成30年度(2018年度)

管理事業名	地域教育事業				総合計画の体系	第4章 第1節	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり 学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくりほか		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 10	教育費	(項) 05	社会教育費	(目) 01	社会教育総務費		
部局名	地域教育部	予算執行所屬		まなびの支援課					
予算大事業名 一般事務事業 こども110番見まもり活動支援事業		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名							
事業の目的と概要 ・一般事務事業 地域教育部の事務を総務し、社会教育委員会議を開催して本市の社会教育行政を推進します。 ・こども110番見まもり活動支援事業 各小学校区で組織されている見まもり隊にキャップや腕章などの消耗品を支給して、通学路の安全確保のための見まもり活動を支援します。 こども110番の家運動協力者を支援するため、災害見舞金制度を設け、活動時の災害に対して見舞金を支給します。また、協力者に取り付けていただく旗やステッカーを配付します。									

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
社会教育委員会議 開催回数	回	6	6	6	社会教育委員会議の開催回数
消耗品支給小学校区数	校区	33	35	35	こども110番見まもり活動に係る消耗品を支援した小学校区数
成果の 説明	・吹田市の社会教育行政に対して附属機関である社会教育委員から意見をいただくために年間6～8回開催しています。 ・キャップや腕章などの消耗品の補充調査を行い、希望する見まもり隊に支給することで、見まもり活動の継続と充実に貢献しています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書 (単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	72	63	60	△3
経常収入 小計(a)	72	63	60	△3
給与関係費	44,219	42,817	43,296	479
物件費	1,975	2,090	2,045	△45
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	17	15	11	△5
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	3,399	3,321	3,461	140
退職手当引当金繰入額	7,034	1,074	2,983	1,909
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	56,644	49,317	51,796	2,478
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△56,573	△49,254	△51,736	△2,482
特別収入 固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用 固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	173	-	100	100
特別支出 小計(e)	173	-	100	100
特別収支差額(d)-(e)=(f)	△173	-	△100	△100
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△56,745	△49,254	△51,836	△2,582
一般財源充当額	52,730	51,828	52,309	481
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△4,016	2,574	473	△2,101

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	職員人件費・審議会委員報酬
物件費	一般事務事業 需用費(632千円)、使用料及び賃借料(506千円)ほか こども110番見まもり活動支援事業 需用費(642千円)・役務費(200千円)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	72	63	60	△3
行政サービス活動支出	52,801	51,891	52,368	478
行政サービス活動収支差額	△52,730	△51,828	△52,309	△481
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△52,730	△51,828	△52,309	△481
一般財源充当額	52,730	51,828	52,309	481
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成28年度	369,522 人	153 円	市民1人あたり140円のコストがかかっています。 経常費用51,796,000円÷人口371,030人(平成31年3月31日現在の吹田市の人口です。)
	平成29年度	370,072 人	133 円	
	平成30年度	371,030 人	140 円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	3,321	3,461	140
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	3,321	3,461	140
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産	-	-	-	固定負債	35,943	35,230	△713
有形固定資産	-	-	-	地方債	-	-	-
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	退職手当引当金	35,943	35,230	△713
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	39,264	38,691	△573
インフラ資産	-	-	-	純資産	△37,234	△36,761	473
有形固定資産	-	-	-	重要物品	-	-	-
土地	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	投資その他の資産	230	130	△100
建設仮勘定	-	-	-	出資金	230	130	△100
重要物品	1,800	1,800	-	長期貸付金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	基金	-	-	-
投資その他の資産	230	130	△100	徴収不能引当金	-	-	-
出資金	230	130	△100	その他債権	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	資産の部合計	2,030	1,930	△100
基金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	2,030	1,930	△100
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

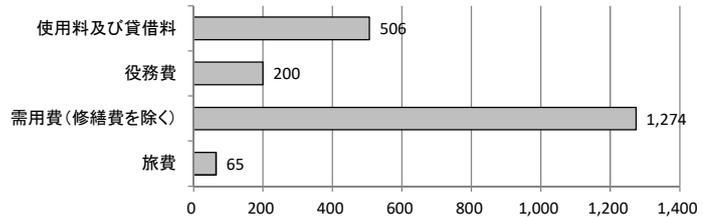
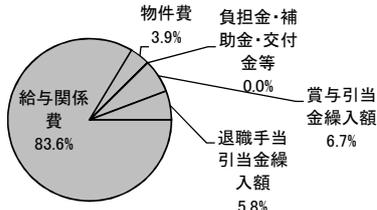
事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	5.3人	月平均	年間従事延日数	実人数	
給与関係費等	45,409千円			451日	12人	49,740
内、時間外勤務手当	826千円					

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
重要物品	絵画1点
出資金	公益財団法人大阪人権博物館への出捐金に取り崩しがあったため

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		99.9	99.9	99.9	0.0

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

事業にかかるコスト全体の96.1%が人件費です。
事業の財源は、一般財源です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

・社会教育委員会議は、年間6~8回開催され、大阪府内でも最も多くの回数を開催しています。平成30年度は、第3次吹田市生涯学習(楽習)推進計画の進捗状況などの地域教育部諸計画の審議や、少年自然の家の現地視察を行いました。
本市の社会教育を推進する上で必要な審議会となっています。
・見まもり活動に係る消耗品を各小学校区17,500円以内で支給することにより、活動の継続と充実を支援することで、子供の安全確保に寄与する事業であり、今後も継続すべき事業です。